



校長室だより

第 3 8 号
(通算第91号)
令和4年11月30日(水)
大崎市立沼部小学校
校長 吉田 浩之

訓練は大事だぞ！

昨日29日(火)の2校時に火災想定避難訓練を行いました。非常時には落ち着いて素早く安全に避難することができるようになることが、訓練の目標です。家庭科室から出火したという想定で、校庭に避難する訓練をしました。

「避難を始めなさい。」の指示から3分36秒で全員の避難が完了しました。子供たちは、「お・は・し・も」の約束を守って素早く行動できたと思います。

先日、下校時に小さな竜巻が発生しました。たまたまその前日に、強風・竜巻の訓練をしていましたので、子供たちは、先生方の指示に従い、適切に行動できました。昨日の訓練の全体講評の中でも、そのことに触れ、訓練の大事さについて話しました。警察官や消防士、自衛官などは日々訓練を怠らず、非常時に、的確に判断して、素早く行動できるようにしています。その訓練のおかげで、私たちは守られています。私たち自身も「自分の命は自分で守る」ために、訓練は大事だと確認しました。私は訓練の時に、子供たちへは「訓練は0点か100点かのどちらかしかありません。訓練は全員100点でなければなりません。」と話しています。今回の訓練で、もし0点だったと思う人がいたら、何が悪くて0点になってしまったのか、しっかり振り返りをしてほしいと思います。各教室に戻る前に、青沼先生が、「訓練は学校の勉強の中で一番大切だと思うよ。」と子供たちに話していました。

訓練が大切だということの、ちょっとしたエピソードを紹介します。宮城県図書館に勤務していた時のことです。小学4年生くらいの女の子とそのおばあさんが来館していました。震度4ほどの地震が発生しました。おばあさんは揺れにおどおどしているばかり。その時、女の子が咄嗟におばあさんの手を取り、おばあさんと共に机の下に潜り込んだのです。訓練することが少ないおばあさんとは対照的に、日ごろから訓練している小学生は、落ち着いて素早く行動することができるんだなぁと改めて思った瞬間でした。

今日で11月も終わり、いよいよ師走を迎えます。寒さも本格的になり、火を扱うことも多くなります。最近の火災の原因で多くなっているのが、子供の火遊びだそうです。お互い声を掛け合いながら、火の用心に努めたいものです。

今回の訓練を機会に、子供たちの防災意識が、高まってくれることを願っています。御家庭でも、防災について話題にしてもらえると嬉しいです。

